

KOICHI KAWAMURA

この夏、ありきたりじゃない心躍る珠玉のシティポップが今ここに！



MY PRIMALY COLORS

3.21 配信スタート／5.26CD発売

Another Life／真夏のヴィーナス／Sweet Emotion／Summer Breeze「恋の fade turn」／Pure Love／Love Is The Place 2 Be／Interlude "Future"／You'll Be Fine／Interlude "Innocent"／涙の通り雨／Ordinary Love・Pure Love [English Ver.]／涙の通り雨 [カラオケ]／Another Life [カラオケ] 全14曲 [税込価格：8,000円]

「アルバム参加アーティスト・ミュージシャン」

Penny-K（編曲&キー・ボード）草間信一（編曲&キー・ボード）杉 直樹（編曲&キー・ボード）濱田金吾（ギター&コーラス）

日野賢二（ベース&コーラス）Mana Leone Hasegawa（コーラス）吉池千秋（ベース&コーラス）岸田容男（ドラム）木原良輔（ギター）

竹上良成（サックス）山本公樹（サックス）内川佳子（コーラス）

販売元：コロムビア・マーケティング株式会社
【お問い合わせ】03-5692-6636 / mail:aormusiccafe@yahoo.co.jp

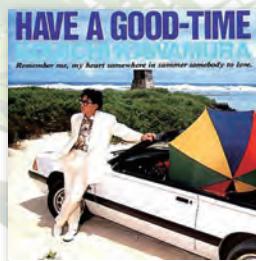


生年月日：1964年2月22日東京生まれ

趣味：料理、ドライブ、映画鑑賞、プラモデル、写真

特技：野球、磯釣り、グラフィックデザイン

血液型：O型



1989年5月デビューアルバム
「HAVE A GOOD-TIME」



1990年セカンドアルバム
「STEP on the "Cherry" WAVE」



2019年デビュー30周年記念
ミニアルバム「Summer Breeze」

川村康一 プロフィール

1982年コーラスをメインとした平均年齢18歳が集まり結成した高校生8人組ロックバンド（MOZANBEEK）が始動。原宿クロコダイルやまだ高校生ながら国立音大の学園祭に招かれライブをするなど勢力的に活動。同年行われた音楽コンテストNHKヤングミュージックフェスティバル東京大会（NHKホール）において銀賞を獲得。その時ゲストの佐野元春氏から個人的にメンバーを楽屋へ案内され高い評価を得ても、優勝できなければ解散と決めて挑んでいたため、その直後バンドは解散。翌年、川村は自らのバンドを結成し、デモテープ制作、ライブ活動で再始動。前年に出場したNHKヤングミュージックフェスティバルにおいて審査員特別賞を受賞。その時の審査員、林立夫氏、ゲストのカシオペアにサウンド性や歌を高く評価される。その後は新宿ルイードでデビュー前の徳永英明とのジョイントライブを超満員で終える他、渋谷ライブイン、Egg-manでのLIVE活動を精力的に行う。1986年レコード会社、プロダクションに送ったデモテープが高く評価され、数社のプロダクションからアーティスト、作家としての誘いを受ける。そして満を持してキティアーティスト（当時所属アーティスト：安全地帯、久保田利伸、バービーホーイズ、RCサクセション、来生たかお他多数）とアーティスト契約を結び1989年5月21日、BMGピクター／airレーベル（注）よりアルバム『HAVE A GOOD-TIME』シングル『GOOD-GOOD-GOOD』でデビュー。同アルバム10曲中、7曲がCMタイアップ曲となる。翌年にはハワイレコーディンによるセカンドアルバム『STEP on the "cherry" Wave』をリリース。ハワイをテーマにハワイで絶大なる人気を誇るサーフミュージックの帝王カラバナが参加。同アルバムからも5曲のCMタイアップが決まり、当時大人気の音楽ラジオ番組TBS「サーフ＆スノー」の常連アーティストとなる。また、FMフジの番組製作陣にも高い評価を得ることで川村自らの選曲による音楽性の高い1時間番組「HAVE A GOOD-TIME／毎週日曜午前10時」のパーソナリティーを2年間勤める。1989年シングル『ふたりのスノーランド』神立高原スキー場イメージテーマソングをリリース。1990年シングル『愛しのジュリアス／羽根のない孔雀』TBSテレビ「スキーにして」主題歌をリリース。2019年デビュー30周年記念ミニアルバム「Summer Breeze～恋のfade turn」シティポップ全開の楽曲を配信する。そして今、シティポップが世界的に高く評価され、国内でのシティポップの再燃に川村康一集大成とも言えるこれぞ真の極上シティポップ、新たな風を纏い遂に31年振りとなるフルアルバム『MY PRIMARY COLORS』をリリースする！

(注)airレーベル（山下達郎、濱田金吾らがair records設立）最後のアーティストとなる。